

## ◎旧朝香宮邸の歴史を訪ねて

連載◆第15回/パリ滞在時「受領証綴」調査報告(最終回)

Residence of Prince Asaka 1933—



朝香宮允子妃殿下。「皇族画報」、1924(大正13)年2月号より。  
アシェット婦人画報社蔵

朝香宮両殿下のパリでのご様子は、当時の雑誌記事などによって帰国前に日本へ伝えられていました\*1。

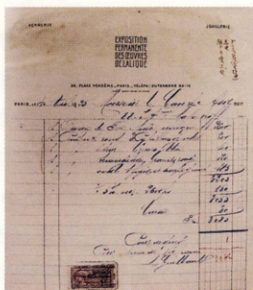
1924(大正13)年の『皇族画報』2月号に、允子妃殿下の肖像写真が掲載されています。カウチに腰かけ、カメラのレンズから視線をはずしたポーズ、クロシェ帽から出ている髪はボブ・ヘアーのような錯覚をおこさせ、軽快な柔らかなドレスを着用したお姿は、これまで同じ雑誌に掲載されていた、宮廷服やヴィクトリア朝の名残を残すデイドレスで装った他の皇族妃達とは一線を画す新鮮な印象を与えます。この写真と同じ装いでポーズのやや異なる写真が鍋島報効会に現存しており、写真の画面右下にはG.L. MANUEL Frères(マニュエ兄弟)というサインが入っていることから、2枚ともパリの同じ写真館で撮影されたものと思われます\*2。そして受領証綴の中には、これらの肖像写真に関係すると推察される領収証が残っています。1923年7月27日には、56枚ものプリントが注文されてお

り、そのうちの1枚が東京へ送られ、翌年の雑誌に掲載されたと考えられます。

大正末期はまだ一般の女性達の洋装が珍しかった時代です\*3。しかしこの頃から昭和初期にかけて、洋装・断髪・洋風化粧に象徴される「モダン・ガール」が世間の注目を集め始めます。近代的な自立した理想の女性像としてこの言葉が使われるのは、1924(大正13)年に発行されたプラトン社の雑誌『女性』8月号からといわれています。このような時代の風潮に先駆け、パリの最先端の洗練されたファッションを身にまとった允子妃の写真は、多くの読者を魅了したことでしょう。

受領証綴に散見される衣服のジェニー(Jenny)\*4靴のピネ(Pinet)、鞆のルイ・ヴィトン(Louis Vuitton)\*5、ガラス装飾のラリック(Lalique)\*6など、多くの店舗が、朝香宮両殿下まで観覧された1925年のアール・デコ博\*7に出展しています。受領証には、当時の上流階級の社交場であった競馬場や劇場の入場料、蓄音器やゴルフクラブの購入記録も含まれています。ベヴィス・ヒリアーはその著『アール・デコ』において、「形式化されたひとつの様式」が当時いたるところに浸透し、それは定期船から映画館、美容院、ホテル、ハンドバッグ、靴、そして街灯や郵便箱など、あらゆるものにおよんだと述べています\*8。まさに両殿下のパリでの生活も、後に「アール・デコ」と名付けられた「ひとつの様式」を堪能したものであったということを、受領証綴から読み取ることができるのです。

(青木淳子/東横学園女子短期大学非常勤講師) ◆



ラリック社の領収証。1925年4月4日、「火の鳥」のモチーフの作品や複数のペンダントが購入されている。「ガラス器」、「その他殿下御買上品」という日本語のメモが付されている。



両殿下帰国後のご一家。高輪の朝香宮邸にて。右から殿下、長女紀久子女王、次男正彦(ただひこ)王、次女湛子(きよこ)女王、妃殿下、長男学彦(たかひこ)王。「婦人画報」、1926(大正15)年2月号より。アシェット婦人画報社蔵

\*1. 1922(大正11)年から25(大正14)年まで両殿下がパリに滞在された折の領収証が「受領証綴」(全39冊)として庭園美術館に保管されている。

\*2. 1925(大正14)年、両殿下のパリでの動向を伝える「東京朝日新聞」(10月27日)には、「御帰京後芝白金の御料に宮邸御新築のことになつて」とある。アール・デコ博を始めとする両殿下のパリ体験は、宮邸(庭園美術館)の建築プランに多大な影響を与えた。

\*3. ほぼ同じポーズの写真が庭園美術館にも保管されている。ニュース第2号掲載図版参照。

\*4. 1925(大正14)年5月の調査で、銀座における女性の洋装は1パーセントであった。今和次郎・吉田謙吉「モデルノロジー・考現学」、春陽堂、1930年、p.24。

\*5. ニュース第19号注釈5参照。

\*6. ニュース第19号掲載「ワードローブ・トランク」図版参照。

\*7. 庭園美術館には、ラリックの正面玄関のガラス・レリーフ扉、大客室と食堂のシャンデリアが現存する。

\*8. 正式名称は「Exposition Internationale des Arts Décoratifs et Industriels Modernes(現代装飾美術・産業美術国際博覧会)」。ニュース第14、15、17号参照。

\*9. ベヴィス・ヒリアー「アール・デコ」(澤井彌彌訳)。PARCO出版、1986年、p.30。